

アンモナイト化石を含む

岩石細工物

ここに紹介する標本は当館地質鉱物標本の一つ、アンモナイト化石を含む岩石細工物である。

一見、カタツムリが樹木に群れているかのようにみえるこの標本は、青灰色泥岩に大小16個体のアンモナイト化石が寄り添うよう密集してついでおり、その反対側、標本中央には珪化木もみられる珍しいものである。

置物として利用したのであろうか、化石がよくみえるよう化石の周囲をきれいに削り取ってある。アンモナイト化石は、中世代白亜紀後期（約6,500万年～9,600万年前）の間の約2,000万年間に世界的に分布、生息していたといわれるゴードリセラス属である。

34.0×19.0×18.7cm大。

ソビエト連邦サハリン州ユジノサハリンスク市（旧樺太豊原支庁豊原郡川上炭鉱）産。



含化石岩細工物

昭和59年度特別展

『明治維新と北海道開拓展』開催される

昨年度の特別展「北の夜明け展—寛政4年から箱館開港まで—」は社団法人霞会館と共催し成功裡に終了したが、今回はその続編として「明治維新と北海道開拓展—箱館開港から明治20年代まで—」というタイトルで北海道開拓記念館・北海道新聞社を加え、4者で共催した。

会場は、市立函館博物館五稜郭分館のほか北海道開拓記念館と小田急デパートの3か所とし、準備や調査・関連催事など全共催者が実質的に分担した。

展示のコーナーは「維新前夜の公家大名」・「戊辰の嵐」・「新天地へ」・「風雪の年輪」の4つに分け、当館は主に「戊辰の嵐」を担当、学芸職員が東北地方などの調査、資料借用返却を行なった。

五稜郭分館での開催期間は7月15日から8月26日までの38日間で、途中一部展示替えを行なったが常時約200点が出品されていた。

特に目を引いていたのは、公家装束で、また岩出山(仙台藩の支藩)へ冷泉家の息女が嫁入りしたとき持参した扇花模様縫箔綸子の打掛も女性に人気があった。

「戊辰の嵐」では、しゃぐまや錦の御旗に人が集まっていた。

函館図書館や当館の資料も出品され、黒田清隆筆の養蚕場の看板やCapitol of Hokkaido, N.W. Holt del (アメリカ人技師ホルトの描いた開拓使庁舎)の額も久し振りに公開された。

開催中は天気にも恵まれ20,975人の観覧者があり、遠くは沖縄などからの観覧者もあった。



展示作業風景

市立函館博物館蔵品目録

「地質鉱物標本」の発刊

昭和59年12月に蔵品目録の地質鉱物篇が完成した。自然科学資料はほとんど展示されていないが、歴史的に貴重なものも多く、これから広く活用される基礎づけができた。

明治の「函館博物場列品目録、鉱物之部」をみると、鉱物類・金鉱類・石鉱類・化石類、が陳列されていた。また、大正9年12月には、初代の当別トラピスト修道院長岡田普理衛(ジェラール・フランソワ・プリエール)が収集した標本2,000点が、函館市に保存、という条件で函館市教育会に寄贈になっている。これは、函館図書館地学室に陳列されたが、元素鉱物・硫化鉱物・酸化鉱物などのほか、イギリス・フランス・アメリカの化石類とカムチャッカのマンモスの牙などがあり、これらは昭和17年5月の「市立函館図書館地学関係図書標本目録」に収められている。昭和30年6月北洋博覧会の物産館が市立函館博物館五稜郭分館として開館するとき、図書館地学標本室の資料が移され

ている。

昭和57年度になり、蔵品目録の地質鉱物篇作成にあたって、北海道教育大学教授外崎与之氏にご指導をお願いした。旧蔵標本のため、名称が異なるもの、採集地不明のものなど未整理の標本が多く、その整理に日数が費やされたが、先生の「より役立つ目録を」というご好意で、品名、計測、点数にとどまらず、同種の標本であっても、それぞれの形状や特徴を明記した一般市民に利用できる内容となった。標本の分類、観察記録、項目ならびに記載順序、巻末の索引が和名で統一されるなど細かな配慮で原稿の執筆をいただいた。

「地質鉱物標本」は、B5判171頁、図版8頁で、昭和59年3月31日現在の2,023点が収録してある。研究機関、図書館、博物館で閲覧できる。ここに3年近くの間ご尽力いただいた外崎与之先生に心からお礼を申し上げます。

事業報告(59. 1. 1 ~ 59. 12. 31) 抄

◎資料管理・整理・保存

○受入(一部昭和58年のものを含む)	
客溜記入台 他8件	9点
【若山徳次郎氏寄贈・函館市末広町4-5】	
そろばん 他2件	2点
【藤倉勇氏寄贈・函館市大川町14-10】	
ひな人形一式	
【石谷つや氏寄贈・函館市上野町1-156】	
ひな人形一式	
【安宅芳子氏寄贈・函館市鍛冶1丁目6-4】	
掛ひな人形 他2件	11点
【笠原憲夫氏寄贈・函館市日吉町3丁目2-15】	
せいろ 1件	
【吉田テル氏寄贈・函館市末広町23-18】	
市民防毒面 他3件	4点
【十二栄次郎氏寄贈・函館市旭町9-1】	
水がめ 2件	2点
【長谷文吾氏寄贈・函館市住吉町11-12】	
看板 他2件	2点
【稲田勝夫氏寄贈・青森市桑原字稲葉137の108】	
本膳一式	
【岩崎康之氏寄贈・函館市高丘町148の31】	
五稜郭之図 他6件	6点
【菊地和宏氏寄贈・函館市湯川町2丁目31-11】	
湯札 他2件	3点
【柳沼多喜哉氏寄贈・函館市東山2丁目20-8】	
仕掛け弓	1点
【花巻源一郎氏寄贈・亀田郡大野町字市渡142の2】	
小倉百人一首板かるた 4件	
【中村北潮氏寄贈・大阪市平野区長吉六反5丁目8-19-301】	
箱そり	1点
【小山健一氏寄贈・函館市港町2丁目1-13】	
樽 1組	2点
【小山健一氏寄贈・函館市港町2丁目1-13】	
平塚常次郎先生近影写真	1点
【越後屋カセ氏寄贈・函館市大町6-4】	
絵はがき 1件	12点
【熊木正彦氏寄贈・函館市入舟町16-11】	
ひな人形 1件	25点
【佐藤久美子氏寄贈・函館市田家町2-32】	
シャンデリア 他12件	
【小川靖彦氏寄贈・函館市谷地頭町24-11】	
盆 他9件	9点
【石倉サグ氏寄贈・函館市桔梗町340の21】	
そろばん	1点
【佐藤孝一郎氏寄贈・函館市亀田本町59-6】	
手廻しアイスクリームフリーザー 他9件	9点
【若山徳次郎氏寄贈・函館市元町3-7】	
アザラシ	1点
【若山徳次郎氏寄贈・函館市元町3-7】	
測量機	1点
【小滝甲子郎氏寄贈・函館市新川町20-18】	

市民の方々から博物館に
資料がつぎつぎ寄贈される!!

博物館は毎年春に前年度に寄せられた寄贈資料を一
堂に展示し、市民の方々および寄贈者の方に紹介する
「新収蔵資料展」を恒例として開催しております。

昭和58年度には120件の資料が受入れられ、昭和59
年5月1日から13日まで行なわれた新収蔵資料展では、
特に小川合名会社資料や初代渡辺熊四郎の洋行関係資
料が目まされていきました。

なお、昭和59年度にもつぎつぎ資料が寄贈されてい
ます。

エゾ古地図	1点
【藤田良平氏寄贈・函館市銭亀町300の21】	
号外用鈴	1点
【寺沢洋氏寄贈・函館市東山2丁目62-19】	
松上鶴 他3件	3点
【長澤トセ氏寄贈・函館市中島町26-3】	
電気トンプ	1点
【佐藤孝一郎氏寄贈・函館市亀田本町59-6】	
橋名板 1件	4点
【函館市土木部から保管替】	
火鉢 他12件	12点
【高橋さえ氏寄贈・函館市宝来町34-20】	
やかん	1点
【田代貞彦氏寄贈・函館市東川町14-5】	
軍人用オーバー 他15件	
【杉江鉄雄氏寄贈・函館市美原3丁目8-23】	

○整理

児玉コレクション整理(1月~12月)

自然科学資料整理(1月~12月)

罫・小道具資料撮影

○保存

ばく涼

本館(10月16日~31日)、分館(10月2日~15日)、
資料館(10月23日~31日)

※資料くん蒸(10月23日~26日)

○貸出

函館市北洋資料館に資料31件貸出(4月1日~1年間)

「日中貨幣展」に志海苔古銭資料20,105点貸出

(3月20日~5月6日 大阪市立博物館)

旧函館公会堂に資料2点貸出(4月1日~1年間)

「平福百穂展」に美術資料1点貸出(10月12日~11月26
日宮城県美術館)

◎展示

○特別展

明治維新と北海道開拓展(分館7月15日~8月26日)

○企画展

ひな人形(資料館2月12日～3月4日)
新取蔵資料展(本館5月1日～13日)
よろいかぶと展(分館5月1日～17日)

◎教育普及

○市民講座

桔梗台地の縄文遺跡見学会(5月27日)
写真で見る街並みをたずねて(6月27日)
アイヌ民族の文様(9月8日)
箱館戦争の跡をたずねて(9月14日)
わら細工を作ってみよう(11月18日)

○科学教室

春の星座観測会(5月12日)
太陽の観測会(6月9日)
植物野外観察会(6月23日)
夏の星座と七夕観測会(7月7日)
植物野外観察会(8月3日)
惑星観測とハレーすい星の話(8月11日)
月の観測会(9月8日)
昆虫観察会(9月22日)
秋の星座観測会(10月6日)
冬の星座観測会(11月2日)

○出版

3月5日 館報「サラニップNo.23」発行
12月27日 蔵品目録4「地質鉱物篇」発行

○調査・視察・団体観覧

2月7日 小平市議会議員視察
2月8日 東京都新宿区議会議員視察
4月25日 国立民俗博物館資料調査
5月24日 大分市議会議員一行視察(分館)
5月29日 青函市民文化交流婦人視察団視察
5月30日 広島市企画調整局文化担当視察
5月30日 倉敷市議会議員一行視察(分館)
6月6日 宮崎大学教育学部市川教授視察
6月21日 熊本市議会議員一行視察(分館)
7月4日 高山市教育委員会教育長一行視察
7月11日 豊田市議会議員視察
7月15日 中国張勁夫国家経済委員会主任訪日団視察
(分館)
7月26日 八戸市博物館栗村館長視察
7月31日 珠州市文化財保護審議会委員視察
8月3日 北海道議会議員一行視察
8月4日 北海道環境文化財保存振興議員会視察(分館)
8月9日 青山学院大学能正教授視察
8月14日 沖縄豊川豆記者団視察(分館)
8月19日 仙台市教育委員会資料調査
9月4日 東北学院大学見学実習
9月19日 北海道開拓記念館資料調査
10月5日 釧路市立博物館澤館長視察
10月7日 北海道文化財パトロール増川委員調査
10月24日 北海道埋蔵文化財センター視察

12月1日 国立歴史民族博物館資料調査
12月4日 真狩村教育委員会一行視察

○写真撮影

博物館資料の写真撮影 73件

◎調査活動

「五稜郭」「箱館戦争」の調査研究並びに資料収集
西部地区の歴史的調査研究並びに資料収集

◎会議出席

○博物館協議会

博物館協議会開催(3月7日・4月19日・6月5日)

○博物館大会

日本博物館協会館長会議総会に加納館長出席
(6月28日～29日)
北海道博物館大会に玉地庶務係長出席(7月6日～7日)

◎人事異動

三浦綏主事、宮崎正太郎嘱託、谷口幸一嘱託退職
(3月31日付)
本谷正雄嘱託、佐藤孝一郎嘱託、高橋清嘱託発令
(4月1日付)
山下利郎係長函館病院医事課給食係長に異動
(5月10日付)
玉地国雄庶務係長発令(5月10日付)
酒井厚子主事市民部医療助成課に異動(5月28日付)
小坂節子主事、浪内幸子主事発令(5月28日付)
高橋清嘱託退職(10月1日付)

入館者統計

昭和59年常設展示(59.1.1～59.12.31)

月別	種別	本館	五稜郭分館	郷土資料館	計
1		308	367	189	864
2		323	1,487	803	2,613
3		420	967	702	2,089
4		354	1,409	381	2,144
5		13,902	18,994	1,840	34,736
6		7,858	4,037	1,118	13,013
7		1,554	(特別展)	1,480	3,034
8		2,272	(特別展)	3,046	5,318
9		2,349	8,848	1,863	13,060
10		464	1,913	670	3,047
11		675	1,891	477	3,043
12		256	470	211	937
計		30,735	40,383	12,780	83,898

昭和59年度特別展五稜郭分館(7/15～8/26)

月別	個人	団体	計
7	5,427	1,170	6,597
8	13,474	904	14,378
計	18,901	2,074	20,975

Hakodate City Museum News

SARANIP—サラニップ—No.24 1985.3.1発行

編集・発行 市立函館博物館(TEL0138-23-5480)

北海道函館市青柳町・函館公園内(〒040)